



桜の風

学校教育目標「考動」～ 自分で考え 正しく動く 生徒の育成 ～



発行日:令和6年8月9日

文責:校長 木場 隆司

県民祈りの日 ～ 長崎原爆から79年目の夏 ～

長崎市に原爆が投下されてから79回目の8月9日を迎えました。長崎県では県民祈りの日として、全ての公立小・中学校が登校日です。暑さが厳しいため、第1部をエアコンのある各教室でのリモート配信として校長講話と動画視聴を行い、第2部を体育館での全校集会として11:02の黙祷及び桜が原中学校平和宣言を行いました。今日の学びをとおして、平和の尊さについて、改めて学級や家庭で真剣に考える機会としてほしいと思います。

平和集会 校長講話 (リモート配信)

全校生徒の皆さん、おはようございます。今から話す場所をイメージしてください。桜が原中学校の正門(校門)を出る時のイメージです。正門を出て右に進みます。少し進むと右に自動販売機があって横断歩道があります。この横断歩道から、右を見ると、国道34号線の交差点の信号機が見えます。近くには、かとりストアがあります。道はさらにその先まで延びて竹松駅へつながります。逆にこの横断歩道から、左を見ると、長い直線道路が見えます。その先に県道38号線の交差点があります。近くには、ドラッグストアコスモスがあります。さらに直進すると海上自衛隊大村航空基地の滑走路へつながります。

今、皆さんがイメージしたこの道、つまり、竹松駅から滑走路へ続く道に沿って、昔、線路があったのです。1941年(83年前)、この滑走路から大村郵便局や大村工業高校を含む広い土地に第21海軍航空廠(飛行機の工場)が作られました。当時、世界でもトップクラスの大きな工場であり、そこで働く人がやってきたため人口が増え、翌年に大村市が誕生します。働いていた人は皆さんと同年齢の若い人たちも多く、ここで作られた戦闘機は次々と戦場に送り込まれていきました。この工場へ材料を列車で運び込むための線路が先ほどイメージしてもらった場所にあったのです。

しかし、アメリカはこの工場を把握しており、1944年(80年前)の10月25日に大規模な空襲を行ったのです。長崎に原爆を投下した爆撃機と同じ型のB29が59機も大村にやってきて、この工場に爆弾を次々と落とし、工場は大きく破壊され、約300名の方が亡くなりました。皆さんは79年前のことを想像することや自分のこととして捉えることは難しいかもしれませんが、桜が原中学校区の上空にB29がやってきて爆弾を落とし、多くの方が亡くなったという事実を忘れないでほしいのです。そして、自分ができることをしっかりと考えてほしいのです。

先ほどイメージした横断歩道に戻ります。横断歩道を渡って直進すると左側に下原口公園、通称「山公園」があります。この公園のコンクリートでできた山は、戦時中に戦闘機を隠していた「掩体壕(えんたいごう)」と呼ばれるものです。アメリカの攻撃から少しでも被害を減らすために作られたのですが、ここが公園となって子供たちが遊んでいる平和な今、私たちができることは何かをしっかりと考える1日にしてほしいと思います。平和についても全校生徒の皆さんが、「考動」を意識して、自分で考え 正しく動くことを願って校長からの話を終わります。

9月の行事予定表 (※予定変更の際はtetoru等でお知らせします)

日	曜	行 事	給食	日	曜	行 事	給食
1	日			16	月	敬老の日	
2	月		○	17	火		○
3	火	生徒会集会	○	18	水		○
4	水		○	19	木		○
5	木		○	20	金		○
6	金		○	21	土		
7	土			22	日	秋分の日	
8	日			23	月	振替休日	
9	月		○	24	火		○
10	火		○	25	水		○
11	水		○	26	木		○
12	木	職員会議	○	27	金	学級専門委員会	○
13	金		○	28	土		
14	土			29	日		
15	日	家庭の日(部活動原則停止)		30	月		○

